

長田夏樹氏旧蔵学術資料目録  
—抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料—

吉池孝一

長田夏樹氏旧蔵学術資料のうち、遼・西夏・金・元・清の言語と文字に係わる資料を調査し目録を作成している。目録の対象となる資料には、拓本、図書、抜き刷り論文・電子複写論文、ノートなどがあり、これらのうち拓本類の目録については既に長田礼子他 2012により公にされている<sup>1</sup>。小稿では「抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料」の目録を提示する。長田夏樹氏の学問の成り立ちを知る一助ともなれば幸いである<sup>2</sup>。

抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料(年代順)

【遼】

01. 羅福成 1933. 「遼宣懿皇后哀册釋文」, 『滿洲學報』 第二。【青焼】
02. 羅福成 1933. 「遼宣懿皇后哀册釋文」, 『滿洲學報』 第二。【抜刷。太田夢庵先生惠存との墨書あり】
03. 白鳥庫吉 1934. 「成吉思皇帝聖旨牌」, 『羽田博士史學論文集 上巻歴史篇』 昭和 32 年第 1 刷, 130-136 頁。もと『歴史と地理』 第 34 巻。【電子複写】
04. 李文信 1942. 「契丹小字「故太師銘石記」之研究」, 『滿洲帝国 國立中央博物館論叢』 第 3 號, 康徳 9 年 2 月, 67-74 頁。【フィルムの紙焼き】
05. 閻万章 1957. 「錦西西孤山出土契丹文墓志研究」, 『考古学報』 1957 年 2 期, 69-84 頁。【電子複写】
06. 厲鼎{火奎} 1957. 「契丹語文在漢語文中的遺存」, 『語文知識』 第 67 期 1957 年 11 月号, 38-40 頁。【電子複写】
07. 厲鼎{火奎} 1958. 「《漢語拼音方案》幫助了我考釋契丹文字」, 『語文知識』 第 72 期 1958 年 4 月号, 41-42 頁。【電子複写】
08. 山路廣明著/鄭清茂訳 1961. 「從漢字形状所見之契丹文字」, 『大陸雜誌』 第 23 卷第 1 期, 31 頁。【青焼】
09. 劉鳳翥・于宝麟 1977. 「契丹小字《許王墓誌》考釋」, 『文物資料叢刊』 第 1 輯, 88-104

<sup>1</sup> 長田礼子・吉池孝一・武内康則・中村雅之 2012. 「長田夏樹氏旧蔵拓本目録」, 『KOTONOHA』 第 115 号, 1-3 頁。

<sup>2</sup> この場をお借りし資料の使用をご快諾くださった長田家の皆様に感謝申し上げます。

- 頁。【電子複写。著者より長田氏への献辞あり。1982年8月7日付け。契丹小字に対して長田式音価の書き込みあり】
10. 劉鳳翥・于宝麟 1978. 「契丹小字解讀新探」, 『考古学報』1978年第3期, 353-387頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり。1982年8月7日付け。契丹小字に対して長田式音価の書き込みあり】
  11. 劉鳳翥・于宝麟 1981. 「《故耶律氏銘石》跋尾」, 『文物資料叢刊』第五輯, 175-179頁。【電子複写。著者より長田氏への献辞あり。1982年8月7日付け。『文物資料叢刊』第五輯の「内蒙古山嘴子“故耶律氏”墓發掘報告」(昭烏達盟文物工作站他著, 167-171頁)及び「《故耶律氏銘石》考釋」(蘇赫著, 172-174頁)も綴じて一本とする】
  12. 劉鳳翥 1983. 「契丹小字解讀再探」, 『考古学報』1983年2期, 255-270頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり。1983年5月12日付け】
  13. 王承礼 1990. 「契丹祭黒山の考察」, 『社会科学戦線』1990年2期(東北歴史與文化), 223-229頁。【電子複写。著者より長田氏への献辞あり。1993年8月12日赤峰中国とある】
  14. 豊田五郎 1990. 「契丹小字の方位と若干の數詞について」1990年11月。【手書き論文の電子複写】
  15. 豊田五郎 1991. 「《仁先(即実本)墓誌》の新釈」1991年4月29日。【手書き論文の電子複写。書き込みあり】
  16. 劉鳳翥 1991. 「若干契丹大字の解讀及其它」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都。1991年5月14日~17日)の5月15日アピカルイン京都における配布資料。手書き原稿の電子複写】
  17. 蘇赫 1991. 「『故耶律氏銘石』考釋」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都。1991年5月14日~17日)の5月15日アピカルイン京都における配布資料。手書きの日本語原稿及び中国語印刷原稿の電子複写】
  18. 于宝麟 1991. 「略論《契丹語研究》及其相關問題」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都 1991年5月14日~17日)の5月16日アピカルイン京都における配布資料。手書き原稿の電子複写】
  19. 阮廷焯 1991. 「契丹小字銅鏡新考」、「契丹小字銅鏡新考(要約)」(日本語)。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都 1991年5月14日~17日)の5月15日アピカルイン京都における配布資料。手書きの中国語及び日本語原稿の電子複写】
  20. 陳乃雄 1991. 「契丹小字数詞“影子字”探」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都 1991年5月14日~17日)の5月15日アピカルイン京都における配布資料。手書き原稿の電子複写。赤鉛筆で訂正用とあり訂正の書き込みがなされている】

21. 長田夏樹 1991. 「契丹漢字音探源—契丹小字によって表記された漢字音の音価とその体系について—」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都 1991年5月14日～17日)の5月15日アピカルイン京都における配布資料。手書き原稿の電子複写。赤鉛筆で訂正用とあり訂正の書き込みがなされている】
22. 西田龍雄 1991. 「契丹小字研究の基本的問題(要旨)」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都。1991年5月14日～17日)の5月16日アピカルイン京都における配布資料。ワープロ原稿の電子複写。書き込み有り】
23. 閻萬章 1991. 「關於契丹小字《遼道宗皇帝哀冊》的考釋問題」。【日中合同契丹文字研究国際シンポジウム(於羽田記念館・アピカルイン京都 1991年5月14日～17日)の配布資料。手書き原稿の電子複写】
24. 豊田五郎 1992 訳文。「遼寧阜新海棠山発見契丹小字造像碑」(呂振奎・袁悔波著。『考古』1992年第8期, 766-768頁)の日訳。【電子複写。豊田五郎 1992年12月28日訳とある。同碑文の豊田五郎氏試訳が付されている】
25. 長田夏樹 1993. 「契丹文字、女真文字及西夏文字相互關係的一個窺測—從成吉思皇帝聖旨碑(マ)背面的番字談起—」、「契丹文字、女真文字および西夏文字の関連性についての一考察—成吉思皇帝聖旨牌裏面の番字を足掛かりとして—」。【中国北方古代文化国際學術研討会の配布資料。1993.8.11～-15。中国赤峰市にて。中国語及び日本語ワープロ原稿。書き込みあり】
26. 豊田五郎 1993. 「契丹大字解讀の手がかり」1993年8月。【ワープロ原稿の電子複写】
27. 劉鳳翥 1993. 「若干契丹大字の解讀及其它」, 『漢學研究』第十一卷第一期, 383-398頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり。1993年10月13日付け】
28. 劉鳳翥 1995. 「契丹小字解讀五探」, 『漢學研究』第十三卷第二期, 313-347頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり。1996年3月30日付け】
29. 超豐・齊曉光 1996. 「耶律羽之墓絲綢中的團窠和團花圖案」, 『文物』1996年第1期, 33-34頁。【電子複写。附録の漢語墓誌銘に書き込み有り】
30. 豊田五郎 1996. 「契丹大字〈蕭袍魯墓誌〉再読(劉鳳翥先生に捧ぐ)」附「序と景字について」1996年4月25日。【手書き原稿の電子複写。1996年4月30日付け豊田五郎氏の送付状付き】
31. 豊田五郎 1997. 「契丹文字 蒙古の万葉式秘密仮名」, 『月間 しにか』1997Vo1. 8/No. 6, 28-34頁。【電子複写。著者より長田氏への献辞あり】
32. 豊田五郎 1997 訳文。「契丹大字六十年之研究綜述」(劉鳳翥著。日中合同文字文化研討会の配布資料。1997.8.19～20。中国・遼寧省瀋陽市にて)の日訳。【講演資料本体と手書き訳文の電子複写。豊田五郎 1997年7月29日訳とある。1997年11月1日付け豊田五郎氏の

送付状付き】

33. 豊田五郎 1997. 「契丹小字に保存された中古蒙古語の痕跡—永福と春秋と數詞—」、「契丹小字所保留下來の中古蒙古語之痕跡—永福・春秋・數詞—」。【中日合同文字文化研討会の講演資料。1997. 8. 19～-20。中国遼寧省瀋陽市にて。日本語及び中国語ワープロ原稿の電子複写】
34. 劉鳳翥 2001. 「最近 20 年来契丹文字研究概況」, 『燕京學報』新 11 期, 205-246 頁。【電子複写】
35. 鄭曉光 2002. 「契丹小字《耶律永寧郎君墓誌銘》考釋」, 『民族語文』2002 年第 2 期, 63-69 頁。【電子複写】
36. 劉鳳翥 2003. 「一枚契丹大字印章の解讀」, 『文史』2003 年第 1 輯, 177-178 頁。【電子複写】
37. 劉鳳翥・清格勒 2003. 「契丹小字《宋魏國妃墓誌銘》和《耶律弘用墓誌銘》考釋」, 『文史』2003 年第 4 輯, 194-208 頁。【電子複写】
38. 愛新覺羅・烏拉熙春 2003. 「《耶律仁先墓志銘》與《耶律智先墓志銘》之比較研究」, 『立命館文學』第 581 号, 14-29 頁。【電子複写】
39. 豊田五郎 2003 訳文. 「遼《蕭興言墓誌》和《永寧郡公主墓誌》考釋」(劉鳳翥・唐彩蘭著。2003 年 5 月『燕京學報』新 14 期, 71-23 頁)の日記。【論文本体と手書き訳文の電子複写。豊田五郎 2003 年 10 月 2 日記とある】
40. 豊田五郎 2003 訳文. 「契丹小字《皇太叔祖哀册文》考釋」(清格勒・劉鳳翥著。『民族語文』2003-5)の日記。【論文本体と手書き訳文の電子複写。豊田五郎 2003 年 11 月 15 日記とある】
41. 劉鳳翥・王雲龍 2004. 「契丹大字《耶律昌允墓誌銘》之研究」, 『燕京學報』新 17 期, 61-99 頁。【電子複写】
42. 劉鳳翥・丁勇・孔群・白玉 2006. 「两件契丹大字木牘之研究」, 『民族語文』2006 年第 5 期, 62-66 頁。【電子複写】
43. 吳英喆 2007. 「契丹小字研究の現在」, 『龍谷史壇』第 127 号, 1-17 頁。【抜刷】  
【金】
44. Heinrich Julius von Klaproth. 1823. X. TUNGUSEN, *Asia Polyglotta*. Paris. 286-300. 【電子複写。ツングースの章のみ】
45. 羅振玉 1929(?). 「遼居乙稟」, 『遼居雜箸』所収, 1387-1548 頁。「金完顏貞憲王神道碑跋」を含む。【電子複写】
46. 田村實造 1936. 「大金得勝陀頌碑の研究(上)(下)」, 『東洋史研究』第 2 卷第 5 号, 405-438・541(上), 542-560(下), 1-48(上下通した頁数)。【抜刷】

47. 長田夏樹 1958. 「奴兒干永寧寺碑蒙古女真文釋稿」, 『石濱先生古希記念東洋学論叢』36-47 頁。【抜刷。訂正の書き込みあり】
48. 河内良弘 1963. 「建州女直社會構造の一考察」, 『明代滿蒙史研究—明代滿蒙資料研究編一』京都大学文学部, 297-339・12-13 頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり。附 8 月 27 日付け送付書簡】
49. 黄振華 1982. 「女真文永寧寺碑新釋」, 『中国地方誌・辺疆史誌』1982 年 2 期, 35-39 頁。  
【電子複写】
50. 蔡美彪 1984. 「女真字構制初探」, 『内蒙古大学学报(哲学社会科学版)』1984 年第 2 期, 1-11 頁。【抜刷。著者より長田氏への献辞あり】
- 【元】
51. 兪昌均 1969. 「‘蒙古韻略’研究序説—元代韻書編纂の始末と蒙古韻略—」, 『明大論文集』3, 205-227 頁。【抜刷】
- 【清】
52. 清格爾泰 1982. 「滿洲語口語語音」, 『内蒙古大学記念校慶二十五周年學術論文集』1982 年 10 月, 23-73 頁。【抜刷】
- 【其の他】
53. 白鳥庫吉 1898. 「契丹女真西夏文字考」, 「契丹女真西夏文字考(承前)」, 『史學雜誌』第九編第十二號, 明治三十一年, 8-56 頁。【抜刷】